

特定非営利活動法人 日本オスラー病

患者会 請願署名

「オスラー病患者における止血剤サージセルの緊急使用制度整備を求める件」

請願趣旨

希少難病「オスラー病（遺伝性出血性毛細血管拡張症：HHT）」は国内に1万人以上の患者が存在するとされ、その90%が日々繰り返す鼻出血に苦しんでいます。鼻血は1日数回から数十回に及び、重症例では毎週輸血が必要です。

唯一の自己止血手段であった「サージセル」は2024年に「手術用材料」に指定され、患者が日常で使用できなくなりました。その結果、止血困難・救急搬送・鼻中隔穿孔などの被害が増加しています。

患者が自ら止血できれば、医療費（救急搬送・夜間休日診療等）の抑制にもつながり、生活の質の改善が期待されます。

つきましては、国会・厚生労働省・学会・日本医師会において速やかな制度改善を行い、サージセルの緊急使用を認めていただきたく、ここに署名を提出いたします。

請願事項

- オスラー病患者に対するサージセルの緊急使用を認める制度整備
- 医療現場における適切な止血指針の策定・周知
- 患者が安心して受診できる医療体制の構築

署名欄

記入日 年 月 日

氏 名	住 所

(ご記入いただいた個人情報、は、請願提出の目的以外には使用いたしません)

-
- ✦ 提出先: 国会議員、厚生労働省、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会、日本医師会
 - ✦ 提出団体: 特定非営利活動法人 日本オスラー病患者会